

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第387回

布袋寅泰

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和6年5月13日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

人生を面白くするのは 自分しかいない。

布袋 寅泰は、日本のロックミュージシャン、ギタリスト。元 BOØWY、COMPLEX のメンバー。群馬県高崎市江木町出身。ロンドン在住。



Column

みなさんの世代ではあまり知られていないかもしれませんが、私の世代ではまさに“ど真ん中”のアーティストです。当時はバンドブームで多くの人気バンドがヒットチャートを賑わせていました。その中でも“伝説のバンド”と称された『BOØWY (ボウイ)』のメンバーとして一斉を風靡したギタリストです。また、吉川晃司さんとのユニットで人気を博した『COMPLEX』でもその才能を発揮し、活躍しました。一度聴いたら忘れない、映画『キル・ビル』のテーマソングも彼の代表作品です。

今回の言葉は“人生における様々な出来事を面白いと感じられる自分でいよう！”“人生を面白くしようと自分で決めて動き出そう！”“自分以上に自分の人生に興味がある人はいない！”など、たくさんのエールとして受け取ることができると思います。彼のパフォーマンスをライブ映像で見る印象は、目一杯音楽とギターを楽しんでいるという感じです。そういう意味では彼自身が今回の言葉のように“人生を面白くしよう！”という生き方を常に実践しているのだと感じます。見た目は少々怖い感じですが音楽番組での受け答えを見ると非常にフランクで面白い彼は『そんなオレが自信を持って作った曲だよ！聴いてみて！』と呼びかけるように演奏しているのかもしれません。

プロのアーティストですから『成功』に向かう大きな野心も当然持っているとは思いますが、今回のような言葉を発するような布袋さんですからメジャーになる前、音楽に出会った頃と同じ『ギター (音楽) がとにかく大好き！』という思いが一番強いのだと思います。小さなライブハウスでもライブツアーの会場になるようなドームでも同じ熱量だと思います。だから何回も感動の瞬間があって、そんな瞬間が散りばめられた人生を『面白い』と感じ、『もっと！』と思ってさらに努力を続けるから感動の連鎖が生まれるのではないのでしょうか。もしかしたら“夢中になって頑張っていたら人生はいつの間にか面白くなるんだよ！”というメッセージなのかもしれません。みなさんには夢中になれるものがありますか？規模の大小など関係ありません。自分の最大値を上げてくれるような全力で取り組める何かを正智深谷高校で見つけて大きく羽ばたいてください！